

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年3月19日

計画の名称	37 鹿児島県におけるストック効果を高めるアクセス道路整備										重点計画の該当		
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)					交付対象	鹿児島県、志布志市、南九州市、始良市						
計画の目標	鹿児島県は我が国の食の供給基地として、かごしま黒豚など優れた農畜産物を全国に出荷するとともに、桜島や霧島など人気のある観光地を有している。公共交通機関が未発達の本県は、自動車交通に大きく依存しており、地域間競争に勝ち抜くため、九州縦貫自動車道などの高速道路や空港・港湾・ICなどへのアクセス道路や工業団地の造成など民間投資と連携して行われるアクセス道路を整備することにより、農林水産業の振興や観光拠点を活用した地域振興を支援し、県内外における地域間交流の活性化を図る。												
計画の成果目標(定量的指標)	・道路整備により安心・快適な走行時間とゆとりの時間を237時間(H32末)創出												
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考	
										当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	・都城広域定任自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業A3, A4
	創出される安心・快適な走行とゆとりの時間を算出 [安心走行時間] [ゆとり時間] 「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度)×将来交通量 + {(現況延長/現況速度)-(改良後延長/将来速度)}×将来交通量									0時間	233時間	237時間	
全体事業費	合計(A+B+C+D)	3,938百万円	A	3,938百万円	B	0百万円	C	百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	0.0%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	整備計画期間終了後
鹿児島県土木部にて事後評価を実施	公表の方法
	県ホームページにて公表

1. 交付金対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
37-A-1	道路	一般	始良市	直接	始良市	市町村道	改築	(1) 鍋倉～触田線外 西餅田工区	現道拡幅 L=1.9km	始良市					924		
37-A-2	道路	一般	南九州市	直接	南九州市	市町村道	改築	(他) 木佐貫原上線 郡工区	現道拡幅 L=0.98km	南九州市					122		
37-A-3	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	市町村道	改築	(1) 香月線 安楽工区	現道拡幅 L=0.7km	志布志市					1400	H30から別計画へ移行	
37-A-4	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	市町村道	改築	(1) 吉村山ノ口1号線 菅牟田工区	現道拡幅 L=0.4km	志布志市					100		
37-A-5	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 447号 青木バイパス	バイパス L=1.9km	伊佐市					160		
37-A-6	道路	一般	志布志市	直接	志布志市	市町村道	改築	(他) 飯山通山線 飯山工区	現道拡幅 L=0.73km	志布志市					500	R2から別計画へ移行	
37-A-7	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 504号 西光寺拡幅	バイパス L=3.7km	霧島市					732	H29:P14から移行, H30:移行	
											合計	3,938					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計	0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付金事業の効果の発現状況		事業完了及び部分的な供用により「安心とゆたりの創出時間」220時間を達成することができたが、計画期間内に事業を完了することができず当初目標としていた237時間の達成には至らなかった。				
II 定量的指標の達成状況	指標① （走行時間の短縮）	最終目標値	237時間	目標値と実績値 に差が出た要因	2事業箇所（西餅田工区、安楽工区）において、部分的な共用は行ったものの計画期間内に事業を完了することができなかったため。	
		最終実績値	220時間			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						

3. 特記事項（今後の方針等）

計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し早期効果の発現を目指す。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	37 鹿児島県におけるストック効果を高めるアクセス道路整備		交付対象	鹿児島県、志布志市、南九州市、姶良市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)			

